

## 1 解答

仕訳一組につき4点を与える。合計12点。

	借 方		貸 方	
a	買 掛 金	900,000	電 子 記 録 債 権	900,000
b	有 価 証 券	1,431,000	当 座 預 金	1,431,000
c	現 金	240,000	受 取 商 品 券	240,000

## 2 解答

●数字は採点基準。合計20点。

(1)

a	¥ 90,000	b	¥ 30,000
c	損 益	各 4	

(2)

a	1	b	2
---	---	---	---

2つ正解で 4

(3)

	借 方		貸 方	
a	三 重 支 店	3,600,000	現 金	3,600,000
b	仕 入	1,300,000	本 店	1,300,000

4

### 3 解答

●数字は採点基準。合計 8 点。

ア	¥	332,000	各 ②
イ	¥	2,000,000	
ウ	¥	588,000	

売 掛 金		4
4,676,800		2,979,100
② 1/17	516,000	1/17 241,000

### 4 解答

●数字は採点基準。合計 24 点。

(1)

総 勘 定 元 帳											
当 座 預 金 2				受 取 手 形 5				売 掛 金 6			
1/ 1	334,600	1/10	51,200 ③	1/ 6	61,000			1/ 1	240,200	1/13	30,600
13	30,600	17	85,000	24	13,900			③ 6	52,600	24	13,900
		20	27,500					15	24,000		
買 掛 金 18				売 上 24				仕 入 30			
1/17	85,000	1/ 1	227,000		1/ 6	113,600		1/ 4	93,800		
		4	93,800		15	24,000 ③		10	51,200		
								③ 20	27,500		

## 当 座 預 金 出 納 帳

1

令和 〇年	摘 要	預 入	引 出	借または 貸	残 高
/ /	前月繰越	334,600		借	334,600
10	埼玉商店に仕入代金支払い 小切手 # 4		③ 51,200	〃	283,400
13	山梨商店の売掛金回収	30,600		〃	314,000
17	神奈川商店に買掛金支払い 小切手 # 5		85,000	〃	229,000
20	神奈川商店に仕入代金支払い 小切手 # 6		27,500	〃	201,500
③ 31	次月繰越		201,500		
		365,200	365,200		

## 受 取 手 形 記 入 帳

令和 〇年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	支 払 人	振出人または 裏書人	振出日	満期日	支払場所	てん末		
1 6	売り上げ	61,000	約手	3	山梨商店	山梨商店	1 6	2 6	南銀行本店	月	日	摘 要
24	売掛金回収	13,900	約手	8	山梨商店	山梨商店	1 24	3 24	南銀行本店			

③

## 売 掛 金 元 帳

## 山 梨 商 店

2

令和 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借または 貸	残 高
/ /	前 月 繰 越	47,500		借	47,500
6	売 り 上 げ	52,600		〃	100,100
13	回 収		30,600	〃	69,500
15	売 り 上 げ	24,000		〃	93,500
24	手形受け取り		13,900	〃	79,600
③ 31	次 月 繰 越		79,600		
		124,100	124,100		

③

# 5 解答

●数字は採点基準。合計 24 点。

(1)

富山商店		貸借対照表		令和〇年 / 2 月 3 / 日		(単位：円)	
資 産		金 額		負 債 お よ び 純 資 産		金 額	
現 金		968,000		支 払 手 形		1,196,000	
当 座 預 金		2,643,000		買 掛 金		1,264,000 ③	
受 取 手 形 ( 1,300,000)				営 業 外 支 払 手 形		268,000	
貸 倒 引 当 金 ( 13,000)		③ 1,287,000		(前 受 地 代)		252,000 ③	
売 掛 金 ( 2,400,000)				資 本 金		9,800,000	
貸 倒 引 当 金 ( 24,000)		2,376,000		(当 期 純 利 益)		456,000 ③	
有 価 証 券		③ 2,016,000					
商 品		378,000					
貯 蔵 品		③ 32,000					
建 物 ( 1,800,000)							
減 価 償 却 累 計 額 ( 864,000)		③ 936,000					
土 地		2,600,000					
		13,236,000				13,236,000	

(2)

25,000	3
--------	---

# 6 解答

仕訳一組につき 4 点を与える。合計 12 点。

	借 方		貸 方	
a	未 払 法 人 税 等	424,000	現 金	424,000
b	当 座 預 金	7,700,000	資 本 金	7,700,000
	創 立 費	190,000	当 座 預 金	190,000
c	損 益	4,140,000	繰 越 利 益 剰 余 金	4,140,000

1

## a 電子記録債権の譲渡

買掛金を支払ったときは、その債務が消滅するため、**買掛金勘定（負債）の借方**に記入します。また、電子記録債権を譲渡したときは、電子記録債権が消滅するため、**電子記録債権勘定（資産）の貸方**に記入します。

### ここが POINT！

#### ■電子記録債権の譲渡と割り引き

- (1) 電子記録債権を譲渡したとき（本問）  
→債権金額をあとで受け取れる権利がなくなるので、資産の減少として**電子記録債権勘定（資産）の貸方**に記入する。
- (2) 電子記録債権を譲渡されたとき  
→債権金額をあとで受け取れる権利が生じるので、資産の増加として**電子記録債権勘定（資産）の借方**に記入する。
- (3) 電子記録債権を取引銀行などで割り引いたとき  
→取引銀行などに債権を譲渡するので、債権金額を**電子記録債権勘定（資産）の貸方**に記入し、割引料を**電子記録債権売却損勘定（費用）の借方**に記入する。  
→受け取る金額は割引料を差し引いた金額。

## b 有価証券の取得

売買目的で株式を買い入れたときは、**有価証券勘定（資産）の借方**に記入します。なお、買入手数料は有価証券の取得原価に含めます。また、代金は小切手を振り出して支払っているため**当座預金勘定（資産）の貸方**に記入します。

### ここが POINT！

#### ■有価証券の購入

有価証券の取得原価は以下のように計算します。

##### (1) 株式の購入（本問）

$$\text{取得原価} = \underbrace{1 \text{ 株あたりの買入単価}}_{\text{買入価額}} \times \text{購入株数} + \underbrace{\text{買入手数料など}}_{\text{付随費用}}$$

##### (2) 公社債の購入

$$\text{取得原価} = \underbrace{1 \text{ 口あたりの買入単価}}_{\text{買入価額}} \times \text{購入口数} (*) + \underbrace{\text{買入手数料など}}_{\text{付随費用}}$$

$$= \text{額面金額} \times \frac{1 \text{ 口あたりの買入単価}}{\yen 100} + \text{買入手数料など}$$

$$(*) \text{ 購入口数} = \frac{\text{額面金額}}{\yen 100}$$

## c 受取商品券の精算

他店が発行した商品券を精算したときは、商品券を買い取ってもらう権利がなくなるので、資産の減少として受取商品券勘定（資産）の貸方に記入します。また、現金と交換しているため現金勘定（資産）の借方に記入します。

## 2

### (1) 金額および勘定科目の推定問題

#### a 建物の減価償却費

建物の減価償却費（aの金額）＝2,700,000円÷30年＝90,000円…a

#### b 固定資産売却損

備品を売却したときの仕訳から固定資産売却損益を求めます。なお、期首に売却しているため減価償却費は生じません。

(備品減価償却累計額)	280,000	(備品)	640,000
(現金)	330,000		
(固定資産売却損)	30,000*		

\* 330,000円－(640,000円－280,000円)＝△30,000円 → 30,000円…b  
備品帳簿価額360,000円

#### c 勘定科目の推定

収益・費用に関しては、期末に損益勘定への振替仕訳を行います。 → 損益…c

(損益)	30,000	(固定資産売却損)	30,000
------	--------	-----------	--------

以上より、総勘定元帳（一部）の空欄に記入をおこなうと下記ようになります。

備品	
1/1 前期繰越	640,000
1/1 諸口	640,000
備品減価償却累計額	
1/1 備品	280,000
1/1 前期繰越	280,000
建物	
1/1 前期繰越	2,700,000
12/31 次期繰越	2,700,000
建物減価償却累計額	
12/31 (次期繰越) ( 810,000)	1/1 前期繰越 720,000
	12/31 減価償却費 ( a…90,000)
( 810,000)	( 810,000)
固定資産売却(損)	
1/1 備品 ( b…30,000)	12/31 ( c…損益) ( 30,000)

## (2) 会計用語・英語表記（語群選択問題）

語群の和訳は、次のようになります。

1. Securities	有価証券
2. Transactions	取引

また、空欄を埋めると、次の文章になります。

売買を目的として保有する株式や債券などの有価証券は、証券取引所の売買時点における時価を基準にして売買される。そこで、決算時に所有する有価証券の本来の価値を帳簿に示すため、帳簿価額と時価が異なるときは、その帳簿価額を時価に修正する必要がある。これを、有価証券の **2. 評価替え** という。

## (3) 本支店間取引（本店集中計算制度）

### a

〈本店側の仕訳〉

本店は、現金を送付した、すなわち現金が減少したため、**現金勘定の貸方**に記入し、相手勘定には**三重支店勘定**を記入します。

(三 重 支 店)	3,600,000	(現 金)	3,600,000
-----------	-----------	-------	-----------

また、三重支店側の仕訳を示すと次のようになります。

〈三重支店側の仕訳〉

現金を受け入れたため、現金勘定の借方に記入し、相手勘定には本店勘定を記入します。

(現 金)	3,600,000	(本 店)	3,600,000
-------	-----------	-------	-----------

### b

〈本店側の仕訳〉

商品を原価で送るときは、仕入勘定で記帳をおこないます。よって、本店側では、仕入勘定の貸方に記入し、相手勘定には**愛知支店勘定**を記入します。

(愛 知 支 店)	1,300,000	(仕 入)	1,300,000
-----------	-----------	-------	-----------

〈愛知支店側の仕訳〉

愛知支店は、商品の仕入として、仕入勘定の借方に記入し、相手勘定には**本店勘定**を記入します。

(仕 入)	1,300,000	(本 店)	1,300,000
-------	-----------	-------	-----------

## 1 1月17日の取引

### a. 山形商店との取引（商品仕入れ）

商品を仕入れたときは、仕入勘定（費用）の借方に記入し、代金は現金で支払ったため現金勘定（資産）の貸方に記入します。なお、出金伝票の空欄の取引になります。

(仕	入)	420,000	(現	金)	420,000
----	----	---------	----	----	---------

### b. 広告料の支払い

広告料を支払ったときは、広告料勘定（費用）の借方に記入します。また、小切手を振り出して支払ったため、当座預金勘定（資産）の貸方に記入します。なお、振替伝票の空欄の取引になります。

(広	告	料)	32,000	(当	座	預	金)	32,000
----	---	----	--------	----	---	---	----	--------

## 2 入金伝票

入金伝票には入金取引が記入されるため、仕訳の借方は現金勘定（資産）になります。

(現金)	241,000	(売掛金)	241,000
(現金)	300,000	(当座預金)	300,000
(現金)	718,000	(売上)	718,000

## 3 出金伝票

出金伝票には出金取引が記入されるため、仕訳の貸方は現金勘定（資産）になります。

(支	払	家	賃)	67,000	(現	金)	67,000
(普	通	預	金)	790,000	(現	金)	790,000
(未	払	金)	60,000	(現	金)	60,000	
(仕		入)	420,000	(現	金)	420,000	

## 4 振替伝票

振替伝票には現金の増減とならない取引を記入します。

(所	得	税	預	り	金)	240,000	(普	通	預	金)	240,000
(当	座	預	金)	396,000	(売	上)	396,000				
(仕			入)	168,000	(買	掛	金)	168,000			
(当	座	預	金)	370,000	(売	上)	370,000				
(売	掛	金)	72,000	(売	上)	72,000					
(売	掛	金)	444,000	(売	上)	444,000					
(通	信	費)	23,000	(普	通	預	金)	23,000			
(買	掛	金)	6,000	(仕		入)	6,000				
(広	告	料)	32,000	(当	座	預	金)	32,000			



## 5 仕訳集計表

各伝票に記入された1日分の取引を勘定科目ごとに集計します。また、仕訳集計表の元丁欄に売掛金勘定の丁数（勘定口座番号）を記入します。

### 仕 訳 集 計 表

令和○年 / 月 / 〇日

借 方	元 丁	勘 定 科 目	元 丁	貸 方
1,259,000		現 金		1,337,000
766,000		当 座 預 金		332,000 …ア
790,000		普 通 預 金		263,000
516,000	4	売 掛 金	4	241,000
6,000		買 掛 金		168,000
60,000		未 払 金		
240,000		所得 税 預 り 金		
		売 上		2,000,000 …イ
ウ… 588,000		仕 入		6,000
32,000		広 告 料		
23,000		通 信 費		
67,000		支 払 家 賃		
4,347,000				4,347,000

## 6 売掛金勘定への記入

仕訳集計表から1月17日の取引の合計金額で転記します。

売掛金勘定の借方に「1/17 516,000」、貸方に「1/17 241,000」と、日付、金額の順で記入します。

取引について仕訳し、総勘定元帳（略式）の記入をおこないます。次に、当座預金出納帳、受取手形記入帳および売掛金元帳に記入します。当座預金出納帳および売掛金元帳は締め切ることに注意しましょう。

## 1 1 月中の諸取引の仕訳と総勘定元帳への記入

以下に各取引の仕訳を示します。なお、売掛金元帳作成に必要な仕訳には、売掛金勘定に商店名を記載しています。

- (1) 4日 神奈川商店からの掛けによる仕入れ（A品およびB品）

### ① 取引の仕訳

(仕 入)	93,800*	(買 掛 金)	93,800
-------	---------	---------	--------

\* A品：@ 280 円× 200 個 = 56,000 円  
 B品：@ 540 円× 70 個 = 37,800 円  
 仕入：56,000 円 + 37,800 円 = 93,800 円

### ② 帳簿の記入

総勘定元帳に記入します。

総 勘 定 元 帳			
買 掛 金	18	仕 入	30
1/ 1	227,000	1/ 4	93,800
4	93,800		

- (2) 6日 山梨商店への手形と掛けによる売り上げ（A品およびB品）

### ① 取引の仕訳

(受 取 手 形)	61,000	(売 上)	113,600*
(売 掛 金 ・ 山 梨 商 店)	52,600		

\* A品：@ 360 円× 240 個 = 86,400 円  
 B品：@ 680 円× 40 個 = 27,200 円  
 売上：86,400 円 + 27,200 円 = 113,600 円

② 帳簿の記入

総勘定元帳，受取手形記入帳および売掛金元帳に記入します。

総勘定元帳							
受取手形			5	売掛金			6
1/ 6	61,000			1/ 1	240,200		
				6	52,600		
売上			24				
	1/ 6		113,600				

受 取 手 形 記 入 帳											
令和 ○年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	支 払 人	振出人または裏書人	振出日	満期日	支払場所	てん末	
										月	日
1	6	売り上げ	61,000	約手	3	山梨商店	山梨商店	1	6	2	6
									南銀行本店		

売 掛 金 元 帳						
山 梨 商 店						2
令和 ○年	摘 要		借 方	貸 方	借または貸	残 高
/	/	前 月 繰 越	47,500		借	47,500
	6	売 り 上 げ	52,600		〃	100,100

(3) 10日 埼玉商店からの小切手振り出しによる仕入れ（A品）

① 取引の仕訳

(仕 入)	51,200*	(当 座 預 金)	51,200
-------	---------	-----------	--------

\* A品：@ 320 円× 160 個 = 51,200 円

② 帳簿の記入

総勘定元帳および当座預金出納帳に記入します。

総 勘 定 元 帳							
当 座 預 金			2	仕 入		30	
1/ 1		334,600	1/10	51,200	1/ 4	93,800	
					10	51,200	

当 座 預 金 出 納 帳						1
令和 ○年		摘 要	預 入	引 出	借または 貸	残 高
/	/	前月繰越	334,600		借	334,600
	10	埼玉商店に仕入代金支払い 小切手 # 4		51,200	〃	283,400

(4) 13日 当座預金口座による山梨商店の売掛金の回収

① 取引の仕訳

(当 座 預 金)	30,600	(売 掛 金 ・ 山 梨 商 店)	30,600
-----------	--------	-------------------	--------

② 帳簿の記入

総勘定元帳，当座預金出納帳および売掛金元帳に記入します。

総 勘 定 元 帳								
当 座 預 金				2	売 掛 金			6
1/ 1	334,600	1/10	51,200	1/ 1	240,200	1/13	30,600	
13	30,600			6	52,600			

当 座 預 金 出 納 帳						1
令和 ○年	摘 要	預 入	引 出	借または貸	残 高	
/ /	前月繰越	334,600		借	334,600	
	10 埼玉商店に仕入代金支払い 小切手 # 4		51,200	〃	283,400	
	13 山梨商店の売掛金回収	30,600		〃	314,000	

売 掛 金 元 帳						2
山 梨 商 店						
令和 ○年	摘 要	借 方	貸 方	借または貸	残 高	
/ /	前 月 繰 越	47,500		借	47,500	
	6 売 り 上 げ	52,600		〃	100,100	
	13 回 収		30,600	〃	69,500	

(5) 15 日 山梨商店への掛け売り上げ (A品)

① 取引の仕訳

(売掛金・山梨商店)	24,000	(売 上)	24,000*
------------	--------	-------	---------

\* A品：@ 400 円× 60 個 = 24,000 円

② 帳簿の記入

総勘定元帳および売掛金元帳に記入します。

総 勘 定 元 帳						
売 掛 金			6	売 上		24
1/ 1	240,200	1/13	30,600		1/ 6	113,600
6	52,600				15	24,000
15	24,000					

売 掛 金 元 帳						2
山 梨 商 店						
令和 ○年	摘 要	借 方	貸 方	借または貸	残 高	
/ /	前 月 繰 越	47,500		借	47,500	
	6 売 り 上 げ	52,600		〃	100,100	
	13 回 収		30,600	〃	69,500	
	15 売 り 上 げ	24,000		〃	93,500	

## (6) 17日 神奈川商店に対する買掛金の支払い

## ① 取引の仕訳

(買 掛 金)	85,000	(当 座 預 金)	85,000
---------	--------	-----------	--------

## ② 帳簿の記入

総勘定元帳および当座預金出納帳に記入します。

総 勘 定 元 帳			
当 座 預 金		2	買 掛 金
1/ 1	334,600	1/10	51,200
13	30,600	17	85,000

1/ 1	227,000	1/17	85,000
		4	93,800

当 座 預 金 出 納 帳					
令和 〇年	摘 要	預 入	引 出	借または貸	残 高
/ /	前月繰越	334,600		借	334,600
10	埼玉商店に仕入代金支払い 小切手# 4		51,200	〃	283,400
13	山梨商店の売掛金回収	30,600		〃	314,000
17	神奈川商店に買掛金支払い 小切手# 5		85,000	〃	229,000

## (7) 20日 神奈川商店からの小切手による仕入れ (B品)

## ① 取引の仕訳

(仕 入)	27,500*	(当 座 預 金)	27,500
-------	---------	-----------	--------

\* B品：@ 550 円× 50 個 = 27,500 円

## ② 帳簿の記入

総勘定元帳および当座預金出納帳に記入します。

総 勘 定 元 帳			
当 座 預 金		2	仕 入
1/ 1	334,600	1/10	51,200
13	30,600	17	85,000
		20	27,500

1/ 4	93,800		
10	51,200		
20	27,500		

当 座 預 金 出 納 帳					
令和 〇年	摘 要	預 入	引 出	借または貸	残 高
/ /	前月繰越	334,600		借	334,600
10	埼玉商店に仕入代金支払い 小切手# 4		51,200	〃	283,400
13	山梨商店の売掛金回収	30,600		〃	314,000
17	神奈川商店に買掛金支払い 小切手# 5		85,000	〃	229,000
20	神奈川商店に仕入代金支払い 小切手# 6		27,500	〃	201,500

## (8) 24日 手形による山梨商店の売掛金の回収

## ① 取引の仕訳

(受 取 手 形)	13,900	(売 掛 金・山 梨 商 店)	13,900
-----------	--------	-----------------	--------

② 帳簿の記入

総勘定元帳，受取手形記入帳および売掛金元帳に記入します。

総 勘 定 元 帳						
受 取 手 形		5	売 掛 金			6
1/ 6	61,000		1/ 1	240,200	1/13	30,600
24	13,900		6	52,600	24	13,900
			15	24,000		

受 取 手 形 記 入 帳												
令和 ○年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	支 払 人	振出人または裏書人	振出日	満期日	支払場所	てん末		
										月	日	摘 要
1	6	売 上 げ	約手	3	山梨商店	山梨商店	1	6	2	6	南銀行本店	
	24	売掛金回収	約手	8	山梨商店	山梨商店	1	24	3	24	南銀行本店	

売 掛 金 元 帳							2
山 梨 商 店							
令和 ○年	摘 要		借 方	貸 方	借または貸	残 高	
/	/	前 月 繰 越	47,500		借	47,500	
	6	売 上 げ	52,600		〃	100,100	
	13	回 収		30,600	〃	69,500	
	15	売 上 げ	24,000		〃	93,500	
	24	手形受け取り		13,900	〃	79,600	

## 2 帳簿の締め切り

(1) 当座預金出納帳の締め切り

当座預金出納帳は，締め切りのさいに貸借差額により次月繰越高（月末の残高）を算定し，赤記します。その後，預入欄と引出欄をそれぞれ合計し，二重線を引いて締め切ります。

当 座 預 金 出 納 帳							1
令和 ○年	摘 要		預 入	引 出	借または貸	残 高	
/	/	前月繰越	334,600		借	334,600	
	10	埼玉商店に仕入代金支払い 小切手 # 4		51,200	〃	283,400	
	13	山梨商店の売掛金回収	30,600		〃	314,000	
	17	神奈川商店に買掛金支払い 小切手 # 5		85,000	〃	229,000	
	20	神奈川商店に仕入代金支払い 小切手 # 6		27,500	〃	201,500	
	31	次月繰越		201,500			
			365,200	365,200			

(2) 売掛金元帳の締め切り

売掛金元帳は、締め切りのさいに貸借差額により次月繰越高（月末の残高）を算定し、赤記します。その後、借方欄と貸方欄をそれぞれ合計し、二重線を引いて締め切ります。

売 掛 金 元 帳					
山 梨 商 店					
令和 〇年		摘 要	借 方	貸 方	借または貸
/	/	前 月 繰 越	47,500		借
	6	売 り 上 げ	52,600		〃
	13	回 収		30,600	〃
	15	売 り 上 げ	24,000		〃
	24	手形受け取り		13,900	〃
	31	次 月 繰 越		79,600	
			124,100	124,100	

5

1 付記事項

買掛金の決済が手形の裏書譲渡によりおこなわれた取引につき、記帳をしていなかったため、記帳します。

(買 掛 金)	200,000	(受 取 手 形)	200,000
---------	---------	-----------	---------

B/S 受取手形：1,500,000 円 - 200,000 円 = 1,300,000 円

B/S 買掛金：1,464,000 円 - 200,000 円 = 1,264,000 円

## 2 決算整理仕訳

### a. 売上原価の算定

期首商品棚卸高を、繰越商品勘定から仕入勘定に振り替えます。また、期末商品棚卸高を、仕入勘定から繰越商品勘定へ振り替えます。

(仕入)	358,000 <sup>*1</sup>	(繰越商品)	358,000
(繰越商品)	378,000 <sup>*2</sup>	(仕入)	378,000

\* 1 期首商品棚卸高 (残高試算表の繰越商品より)

\* 2 期末商品棚卸高 (決算整理事項の a より)

B/S 商品 : 378,000 円

### b. 貸倒引当金の設定

貸倒引当金勘定の残高が、受取手形と売掛金の期末残高の 1 % になるよう差額を補充します。

(貸倒引当金繰入)	25,000 <sup>*</sup>	(貸倒引当金)	25,000
-----------	---------------------	---------	--------

\* 貸倒引当金設定額

受取手形 : 1,300,000 円 × 1 % = 13,000 円

売掛金 : 2,400,000 円 × 1 % = 24,000 円

設定額合計 : 37,000 円

残高試算表 : △ 12,000 円

(差引) 繰入額 : 25,000 円 …(2)

B/S 貸倒引当金 (受取手形) : 13,000 円

B/S 貸倒引当金 (売掛金) : 24,000 円

### c. 減価償却費の算定

残高試算表に建物減価償却累計額があるため、間接法で処理します。

(減価償却費)	72,000 <sup>*</sup>	(建物減価償却累計額)	72,000
---------	---------------------	-------------	--------

\* 1,800,000 円 ÷ 25 年 = 72,000 円

B/S 減価償却累計額 : 792,000 円 + 72,000 円 = 864,000 円

### d. 有価証券の評価替え

時価に評価替えをおこないます。時価が帳簿価額より低い場合、有価証券評価損を計上します。

(有価証券評価損)	76,000 <sup>*</sup>	(有価証券)	76,000
-----------	---------------------	--------	--------

\* ( $\underbrace{8,400 \text{ 円}}_{1 \text{ 株あたり時価}} \times 240 \text{ 株}$ ) -  $\underbrace{2,092,000 \text{ 円}}_{\text{残高試算表}} = \triangle 76,000 \text{ 円 (評価損)}$

B/S 有価証券 : 2,092,000 円 - 76,000 円 = 2,016,000 円

### e. 貯蔵品への振り替え

郵便切手の未使用高を通信費勘定から貯蔵品勘定に振り替えます。

(貯蔵品)	32,000	(通信費)	32,000
-------	--------	-------	--------

B/S 貯蔵品 : 32,000 円



#### f. 受取地代の繰り延べ

受取地代 432,000 円のうち、次期分（次期 1 月 1 日から次期 7 月 31 日までの 7 か月分）を前受地代勘定へ振り替えます。

(受 取 地 代)	252,000*	(前 受 地 代)	252,000
-----------	----------	-----------	---------

$$* \quad 432,000 \text{ 円} \times \frac{7 \text{ か月 (次期 1 月 1 日～次期 7 月 31 日)}}{12 \text{ か月 (当期 8 月 1 日～次期 7 月 31 日)}} = 252,000 \text{ 円}$$

B/S 前受地代：252,000 円

#### g. 現金過不足（貸方残高）の振り替え

決算において原因が判明しなかった現金過不足（貸方残高）は、雑益勘定へ振り替えます。

(現 金 過 不 足)	7,000	(雑 益)	7,000
-------------	-------	-------	-------

### 3 当期純利益の算定

損益計算書を作成すると以下のようになります。

損 益 計 算 書				
富山商店	令和○年 / 月 / 日から令和○年 / 2 月 3 / 日まで			(単位：円)
費 用	金 額	収 益	金 額	
売 上 原 価	9,197,000	売 上 高	12,728,000	
給 料	2,551,000	受 取 地 代	300,000	
貸 倒 引 当 金 繰 入	25,000	雑 益	7,000	
減 価 償 却 費	72,000			
保 険 料	198,000			
租 税 公 課	114,000			
通 信 費	219,000			
支 払 利 息	127,000			
有 価 証 券 評 価 損	76,000			
当 期 純 利 益	456,000			
	13,035,000			13,035,000

## a 法人税等の確定申告

法人税等の確定申告をおこなったときは、直前の決算において計上していた未払法人税等の金額を納付します。未払法人税等の金額は、法人税等の金額から中間申告のさいに納付していた仮払法人税等の金額を差し引いた金額となります。

確定申告では、**未払法人税等勘定**（負債）の借方に記入し、現金で納付したため**現金勘定**（資産）の貸方に記入します。

〈前期末決算日の仕訳〉

(法人税等)	704,000	(仮払法人税等)	280,000
		(未払法人税等)	424,000*

\* 704,000 円 - 280,000 円 = 424,000 円

〈確定申告の仕訳〉

(未払法人税等)	424,000	(現金)	424,000
----------	---------	------	---------

## b 株式の発行（設立時）

株式を発行したときは、原則として払込金額の全額を**資本金勘定**（純資産）に記入します。

なお、設立に要した諸費用は**創立費勘定**（費用）の借方に記入します。

(当座預金)	7,700,000	(資本金)	7,700,000*
(創立費)	190,000	(当座預金)	190,000

\* @ 11,000 円 × 700 株 = 7,700,000 円

## 当期純利益の振り替え

当期純利益を計上したときは、損益勘定の借方と繰越利益剰余金勘定（純資産）の貸方に記入します。

(損	益)	4,140,000	(繰越利益剰余金)	4,140,000
----	----	-----------	-----------	-----------

### ここが POINT！

#### ■ 損益の繰越利益剰余金勘定への振り替え

(1) 損益勘定の残高が貸方残高の場合→当期純利益（本問）

仕訳： (損 益) ××× (繰越利益剰余金) ×××



(2) 損益勘定の残高が借方残高の場合→当期純損失

仕訳： (繰越利益剰余金) ××× (損 益) ×××



